

コンフォートホテル紀伊田辺



外観

「コンフォートホテル紀伊田辺」は、熊野古道の玄関口「JR紀伊田辺駅」より徒歩約5分。南紀の自然や歴史をめぐる旅に最適なホテルであり、熊野の魅力と心落ち着くエコな滞在が満喫できる。



コンフォートライブラリー
カフェ

宿泊客が無料で利用できるカフェスペース。プロの選書家がセレクトした、紀伊にまつわる本や写真集などを300冊以上用意。フリードリンクサービスが楽しめ、オープンスペースで思い思いの時間を過ごすことができる。



ダブルエコノミー 客室

「ダブルエコノミー」のルームカラーのテーマは、熊野古道の木々から洩れる光が地面に映る景色をイメージした「木漏れ日」。広さは14㎡で、ゆったりとしたベッド幅は140cmとなっている。



ダブルエコノミー
水まわり

「ダブルエコノミー」の浴室には、1218サイズの3点ユニットバスを採用。洗面ボウルの奥行きが小さく足元も広々し、使いやすさと清掃やメンテナンスのしやすさに配慮している。



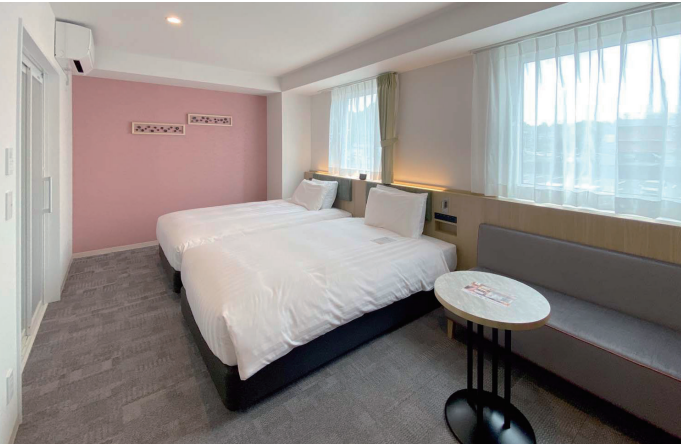
ツインスタンダード 客室

「ツインスタンダード」のルームカラーのテーマは、梅の花が満開になり、遠くから霞んで見える景色をイメージした「花霞（はながすみ）」。広々とした20㎡の部屋に、幅120cmのベッドを2台用意している。



ツインスタンダード
水まわり

「ツインスタンダード」の浴室には、1418サイズの3点ユニットバスを採用。ダブルエコノミー同様、使いやすさと、清掃やメンテナンスのしやすさに配慮している。



ユニバーサルルーム
客室

車いす使用者や高齢者、小さなお子様連れなど、さまざまな利用者が安心して宿泊できる「ユニバーサルルーム」。車いすでも移動しやすい28㎡の広さとし、備品も手に取りやすく配置。左右勝手違いで2部屋設けている。



ユニバーサルルーム
客室

「ユニバーサルルーム」の浴室には段差がなく、車いすのまま入れる広さを確保。浴室ドアは、開口が広く確保できる3枚引き戸としている。

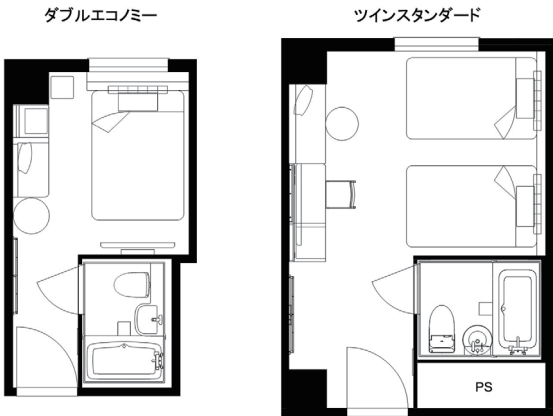


ユニバーサルルーム
水まわり

「ユニバーサルルーム」の浴室は、手すりを要所に備えた1628サイズのユニットバスを採用。洗面器の足元は、車いす使用者の膝が入りアプローチしやすい、広々としたスペースを確保している。

図面

機能性やメンテナンス・清掃性はもとより、それぞれの部屋タイプにふさわしい快適な水まわりを用意している。



水まわりの特長

建物の特徴

全国に展開されるコンフォートホテルチェーンにおいて「コンフォートホテル紀伊田辺」は、2025（令和7）年5月開業された。JR紀伊田辺駅から徒歩約5分、南紀田辺ICから車で約7分、南紀白浜空港からも田辺駅まで路線バス便があり、駐車場も完備。紀伊田辺への出張や観光に最適なホテルであり、熊野の魅力と心落ち着くエコな滞在が満喫できる。周辺には、世界遺産「熊野古道」や白浜温泉、アドベンチャーワールドなど観光スポットが多く、海と山に囲まれた温暖な地域で、海の幸・山の幸が味わえるのも魅力となっている。ホテル近隣には、和歌山県随一の繁華街「味光路（あじこうじ）」や、西日本最大級の海鮮マーケット「とれとれ市場」があり、新鮮な地元の味を堪能できる。

水まわりの特長

客室は、幅広いニーズに対応する、5タイプのバリエーション。1ベッドの「ダブルエコノミー」と「クイーンエコノミー」、隣り合う客室内の内扉でつながっている「コネクティングルーム」。2ベッドの「ツインスタンダード」、車いす使用者や高齢者、小さなお子様連れの方などが安心して利用できる「ユニバーサルルーム」を用意。水まわりもそれぞれの部屋タイプにふさわしく整えられている。客室のデザインは、紀伊田辺ならではの美しい景色、歴史や自然を感じられるよう、部屋の種類によってルームカラーを設定。客室の備品も意匠性と実用性を兼ねたものが採用されている。また、宿泊者専用のくつろげるフリースペースであるライブラリーカフェが設けられるなど、快適に過ごせる工夫がなされている。

建築概要

名称	コンフォートホテル紀伊田辺
所在地	和歌山県田辺市湊47-31
施主	株式会社あかりホーム
運営	株式会社グリーンズ
設計	株式会社 日和設計
施工	株式会社あかりホーム
竣工年月	2025年4月
敷地面積	1,818.13㎡
建築面積	541.28㎡
延床面積	3,063.13㎡
構造・階数	鉄骨造・地上6階

おもなTOTO使用機器

ホテル向けユニット	VPシリーズ:VPV1218UMX1C
ホテル向けユニット	VNシリーズ:VNV1418UDX1B特
ホテル向けユニット	ENシリーズ:ENV1628特